

トピックス編

ヨウモツでスル

1 表彰

(1) 院内表彰

【功績表彰】（平成28年1月4日）

・団体表彰

地域連携相談支援センター 一同

（理由：相談支援業務が複雑多様化する中で、それぞれの患者ご家族の抱える問題の解決に向けて真摯に対応し、病院の信頼獲得や病院運営に大いに貢献をした。）

【感謝状贈呈】（平成28年1月4日）

ニチイ学館



(2) 知事表彰（平成28年1月27日）

【永年勤続表彰】

- ・30年表彰 ①中島 宏 ②吉岡 明美 ③林 哲雄 ④逆井 悦子
 ⑤関 則子

- ・20年表彰 ①前川 哲雄 ②青木 佳乃子 ③菅家 智代 ④杉山 美峰
 ⑤西倉 妙子 ⑥井筒 道子

2 ボランティア活動

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
カリヨン文庫	1986年	図書の貸し出し 読み聞かせ、お話し	毎週木曜日、第2・4火曜日 ：病棟
トライアングル	1993年	外来フロアの壁に貼り絵を展示	季節ごとの張替：外来待合廊下
外来ボランティア	1997年	患者、家族の案内等	月～金曜日：外来
難聴ベビー外来 ボランティア	2000年	難聴ベビー外来での保育	月1回：保発棟
じゃんけんぼん	2001年	入院患児の遊びの相手	第1・3火曜日：3A
写真展示	2005年	風景写真の展示	季節毎の入替：廊下
天文写真展示	2008年	天体写真の展示 こどもたちからの質問に回答	年数回：外来廊下
コロコロ研究所	2008年	コロコロ研究所によるイベント	年1回：中庭、外来廊下
マクドナルドのドナルド君	2009年	ドナルド君の病棟訪問	年1回：病棟
子ども文化ステーション	2011年	ストリングラフィ、人形劇など	年1～2回：会議室
編んでるシアター	2012年	ぬいぐるみを使った絵本などの読み 聞かせ	月1回：病棟
ホスピタルクラウン	2012年	クラウンの病棟訪問	月2回：病棟
アニマルセラピー	2013年	セラピードッグの病棟訪問	月1回：病棟

3 「養護の会」各種イベント

5月29日～6月5日 「絵本カーニバル」

7月1日～8日 「七夕飾り」

7月15日～30日 「夏祭り」

8月12日 「プラネタリウム」

10月30日 「バザー」

当センター職員よりバザー用品を募り、バザーを開催した。

11月25日 「ストリングラフィコンサート」

NPO法人子ども文化ステーションの企画でストリングラフィ（大きな糸電話のようなオリジナル楽器）を用いたコンサートの開催。非常に好評であった。

11月初旬～12月初旬 「クリスマスツリーの飾り作り、飾り付け」

患児、看護師、保育士でクリスマスツリーの飾り作り、飾り付けを行った。

11月27日～12月27日 「クリスマスイルミネーション」

当センターの中庭、プレイガーデンにイルミネーションの装飾をした。大きなツリーやトナカイ、サンタクロースのモニュメントも好評であった。

12月9日～18日 「病棟クリスマス会」

2月10日 「人形劇 ともだちげきじょう」

これらの事業は、長期入院などで外に出ることのできない子ども達の生活に潤いを与えたいと、医療スタッフや職員からなる「養護の会」が企画、協力したものである。

4 院内保育

(1) こども広場

院内保育室は、平成27年度で15年目を迎え、ホームページ、病院案内、利用者からの紹介などで、入院患児の御家族への認知度が高まっている。

利用対象者は、当センターに入院している患児者の兄弟姉妹であり、2歳6ヶ月から6歳までの未就学児である。

対象外保育として、1歳から2歳5ヶ月以下のお子さんや小学生は病棟から対象外依頼書を発行し、保育可能の了承があった場合のみ保育を行っている。

また、緊急を要する場合は、外来看護師長の了承があれば、外来の保育も行っている。

毎日の保育では、日々違うお子さんやキャンセルが入ることもあり、当日にならないと利用者、人数が確定せず、一貫した保育は難しい状況にある。

節分やおひなさま、七夕など季節の行事には、飾りつけの製作を行っている。

特にクリスマス会は、年に一度の行事として位置づけ、歌を歌ったり、毎年保育士による出し物やゲームを楽しみ、手作りおもちゃをプレゼントし、好評を得ている。

利用者の推移

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
人数	1,316人	1,126人	1,310人	776人	848人

平成27年度利用者の月齢構成

年齢	人数	構成率
2歳6ヶ月未満	54人	6.4%
2歳6ヶ月	258	30.4
3歳	186	22.0
4歳	225	26.5
5歳	61	7.2
6歳	30	3.5
就学児	11	1.3
外来	23	2.7
計	848	100.0

(2) かりよん保育園

当センターの医師や看護師等の定着と確保を図るため、旧病院長公舎を改築し、病院職員 の乳幼児を預かる院内保育施設を、平成21年4月1日にオープンした。(慣らし保育は3月から開始) 保育対象の子どもは産後休暇・育児休業取得後の0歳児から小学校就学前まで、保育時間は午前8時から午後6時(前後に各1時間の延長あり)まで、定員は12名(2階部分を使用した場合24名) 保育園の運営は民間業者に委託で行った。

平成27年度は、年度当初の入所者22名で、年度末には23名へとほぼ横ばいで推移した。1年間で医師6名、看護師19名、コメディカル1名の計26名が利用した。

また、夜間保育については昨年度に引き続き週3回(月、水、金) 行っている。

埼玉県立 小児医療センター 歌

さんぼく たけし 作詞
 巖 のぼる 作曲
 川越 徳子 編曲

The musical score is written for voice and piano. It consists of seven systems of staves. The first system shows the vocal line and piano accompaniment. The second system includes Japanese lyrics under the vocal line. The third system continues the lyrics. The fourth system continues the lyrics. The fifth system continues the lyrics. The sixth system continues the lyrics. The seventh system concludes the piece with a double bar line and first/second endings.

埼玉県立 小児医療センター 歌

さんぼくたけし

若草萌える 武蔵野に
 病める幼き 子どもらへ
 愛の医療を 捧げんと
 集り参じて 灯をともす
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

真白の富士を 仰ぎ見る
 幼き生命を 救わんと
 燃える希望と 情熱で
 明日の医療を いま築かん
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

(平成2年4月 職員有志により作詩、作曲された)

発行 平成28年12月
編集発行 埼玉県小児医療センター
埼玉県さいたま市岩槻区馬込2100番地
電話 048(758)1811 (代表)
FAX 048(758)1818
印刷製本 株式会社白樺写真工芸

